

■喜多川歌麿 浮世絵師。まったく新しい“美人大首絵”で一世を風靡、〈寛政の改革〉で創造力を失い、筆禍で憤死。  
きたがわうたまろ  
薩摩藩工事・1753= 生。

大岡忠光没・1760= 7歳：

・・・・・・・・1762= 9歳：

御蔭参流行・1771=18歳：

田沼意次老中1772=19歳：

\_\_鳥山石燕の門に学び、

\_\_勝川春章・北尾重政・鳥居清長ら先輩の作風に私淑して修業時代をすごす。

・・・・・・・・1780=27歳：

天明大飢饉始1782=29歳：\_\_下谷池端忍ヶ岡に寄寓していたおり、\_\_版元蔦屋重三郎によって見いだされ、  
\_\_その肝煎りで盛大な歌麿改名披露、

意知刺殺事件1784=31歳：\_\_この年まで次々と、黄表紙や洒落本のさし絵を描き、  
中絶する間、特に風景画は精密な自然描写にすぐれたものをのこした。

田沼意次失脚1786=33歳：

・・・・・・・・1788=35歳：\*枕絵最高傑作「歌まくら」に続き、狂歌の異常な流行に呼応して、豪華な多色摺の狂歌絵本「画本虫選」と、

初の横綱・・1789=36歳：\_\_「汐干のつと」を出版(のちゴンクールにより最高の動植物図譜と絶賛される)。

帝国議会始・1890=37歳：\_\_集中的に黄表紙を手がけるも、以後止めてしまう。

混浴禁止・・1791=38歳：\*まったく新しい“美人大首絵”を発表し、世人の注目を集める。大判錦絵の画面いっぱいの構図法は、それ  
までの美人全身像とは違って変わった女性美の理想的表現法で、ことに白雲母摺の技法は、女性の肌の白  
さや柔らかさを表現するうえで効果をあげ、

松平定信引退1793=40歳：

ワヅガ 正月・1794=41歳：\*この頃にかけて相次ぎ傑作を発表したが、寛政の改革によって、  
難波屋おきた・高島屋おひさら水茶屋の看板娘を描いた「寛政三美人」などが代表作である。歌麿の人気は、  
その版下絵を求めた出版元が40数軒を数えたことでも知られる。

古事記伝・・1798=45歳：\*この頃には倦怠感覆いがたい作品となり、

ワヅガ 来航・1804=51歳：\_\_老中松平定信の寛政改革後の厳しい政治的圧力の前に屈し、筆禍で入牢3日・手鎖50日の刑を受け、その芸術  
的生命にとどめをさされて、

ワヅガ 報復・1806=53歳：\_\_没した。